

# 2016年度 センター試験 本試験 日本史 B

## 第1問 資料としての日記

出題範囲	古代～現代の文化・社会史
難易度	★★★★☆
所要時間	8分
傾向と対策	2016年度の第1問は、日記という歴史資料をもとに古代から現代にわたる広範囲の基礎知識を問う問題だった。日記がテーマということもあり文化史の出題が多く、文化史をおろそかにしがちな受験生にとっては少々難易度の高い問題であったかもしれない。しかし、問われている内容は教科書レベルの知識であるため、教科書を読み込むといった地道な学習が欠かせない。

### A

問1  正解は①

難易度 ★★☆☆☆

#### 解説

ア 唐が入る。唐は618年から907年まで続いた中国の王朝である。630年から894年の間、15回に渡り日本から遣唐使が派遣された。宗は5世紀中頃に江南を支配していた王朝、または唐の滅亡後、960年に建てられた統一王朝である。

イ 藤原道長(966-1027)が入る。『御堂関白記』は道長が書いた自筆日記であり、摂関期の重要な資料となっている。藤原頼通(992-1074)は、道長の息子で平等院鳳凰堂を建立したことで有名である。

以上より、正解は①である。

問2  正解は④

難易度 ★★★★★

#### 解説

X 誤 『日本書紀』は、舎人親王(676-735)が720年に元正天皇(在位715-724)に献上した日本初の公式の教科書であり、神代から持統天皇(称制686-689、在位690-697)の時代までの歴史が編年体で書かれている。聖武天皇(在位724-749)は元正天皇の退位後、724年に即位しており、「聖武天皇の時代までの出来事を記している」という記述は誤りである。

Y 誤 津田左右吉(1873-1961)は、古代史の科学的解明を行い『神代史の研究』などを著した人物である。『古事記伝』は、1764年～同98年にかけて本居宣長(1730-1801)が著した『古事記』の注釈書である。

以上より、X一誤、Y一誤の組み合わせになる④が正解である。

問 3 3 正解は②

難易度 ★★★★★☆

## 解説

- ① 誤 **五山版**は鎌倉・室町時代、京都五山・鎌倉五山を中心に出版された、**禅**の経典や漢詩文集などの**書籍**である。京都五山・鎌倉五山は臨済宗の寺院であるので、「律宗の僧侶は…」という記述は誤りである。
- ② 正 活字印刷術は、キリスト教宣教師**ヴァリニャーニ**（1539-1606）によってもたらされた。ローマ字表記によるキリスト教聖典の翻訳書や日本古典などが出版され、**キリシタン版**（**天草版**）と呼ばれた。
- ③ 誤 **黄表紙**・洒落本作家の**山東京伝**（1761-1816）らを**出版統制令**によって取り締まったのは、**松平定信**（1758-1829）による**寛政の改革**である。
- ④ 誤 GHQ は戦時中の言論統制を否定し、思想・言論の自由などを認めた。しかし、**占領政策**や**連合軍に対する批判はプレス＝コードによって禁止され**、1945 年以降約 3 年間、GHQ による事前検閲が行われた。
- 以上より、正解は②である。

## ◆参考 江戸時代の出版統制

## 寛政の改革

## ○山東京伝（1761-1816）

- ・『**仕懸文庫**』：[洒落本] 内容は、深川の遊女が客に惚れ、仕懸文庫（江戸深川の遊里で女が荷物を入れるための手箱のこと）の中身が徐々になくなっていくというもの。
- ・『江戸生艶気樺焼』：[黄表紙] 資産家の一人息子で生来好色の艶二郎は、浮名を流すために方途を尽くすが失敗続きに終わるという話を描く。

## ○恋川春町（1744-89）

- ・『**金々先生栄花夢**』：[黄表紙] 栄華を望んで江戸へ出てきた金兵衛が、資産家の養子となり栄華を極めたが、放蕩が過ぎ追い出される、という夢を見て、人生の楽しみについて悟り故郷へ帰るという内容。

## ○林子平（1738-93）

- ・『**三国通覧図説**』：[地理書。「**三国**とは朝鮮・琉球・蝦夷地のこと」]を指し、この三国及び小笠原諸島の地図などを掲載している。
- ・『**海国兵談**』：[国防政論書。**ロシアの南下政策に対抗するために海防を充実するべきだ**]と述べており、幕府の海防不備を批判する内容を含んだために**発禁・版本没収の処分**となった。

## 天保の改革

## ○為永春水（1790-1843）

- ・『**春色梅児誉美**』：[人情本] 不遇の美男子・丹次郎が、芸者や許嫁と三角関係を展開する話が描かれており、若い男女に絶大な支持を受けた。

## ○柳亭種彦（1783-1842）

・『<sup>にせむらさきいなかげんじ</sup>修紫<sup>ごうかん</sup>田舎源氏』：[**合巻**]「修紫」とは偽の紫式部、「田舎源氏」はまがい物の『源氏物語』のことで、『源氏物語』を基にして書かれた作品である。

## B

問 4 4 正解は④

難易度 ★★★★★☆

## 解説

ウ **かな**が入る。『土佐日記』は紀貫之が女性のふりをして、**かな文字を用いて**書いた平安中期の日記文学である。一方、役所などの公式の文章では基本的に漢字が用いられた。

エ **吾妻鏡**が入る。『吾妻鏡』は、1180年の源頼政（1104-80）挙兵から1266年の宗尊親王（1242-74）の京都送還までの鎌倉幕府の歴史が書かれた**歴史書**である。『愚管抄』は天台座主の慈円（1155-1225）が1220年に書いた歴史書で、「道理」にもとづいて歴史展開を記述した歴史書である。後鳥羽上皇（院政 1198-1221）の倒幕計画を諷める意図があったとされている。

以上より、正解は④である。

問 5 5 正解は③

難易度 ★★★★★★

## 解説

① 誤 弥生時代前期は、水はげが悪く、生産力の低い**湿田**が中心であったが、後期になると、**灌漑**（水田に水を引くこと）施設を整えた**乾田**の比重が高まり生産力が向上した。

② 誤 大唐米は平安末期から鎌倉時代頃に日本に伝来し、西国を中心に普及した。食味はよくなかった。**災害に強く多収穫**であったため農家の生活水準向上をもたらした。

③ 正 1837年、大坂では**天保の飢饉**による餓死者が出る中、商人が巨利を得るために米の買い占めを行い、飢餓問題が深刻化していた。この状況に対して大坂町奉行は、町民の救済策を取らなかったばかりか江戸へ大量に米を廻送していた。これに反発した**大塩平八郎**（1793-1837）が民衆を率いて武装蜂起し、半日で鎮圧された（**大塩の乱**）。

④ 誤 1918年、**シベリア出兵**を見越した米の買い占めによって米価が高騰し、富山県から**米騒動**が始まった。騒動は全国的に拡大して3ヵ月間続き、**寺内正毅**内閣（1916-18）は一部軍隊を出動させるなどしてこれを鎮圧した。

以上より、正解は③である。

問 6 6 正解は③

難易度 ★★★★★★

## 解説

- X 誤 学制<sup>がくせい</sup>公布直後の 1873 年、女子の就学率は男子の半以下であった。女子の就学率は日清戦争後急激に向上し、男女ともに就学率が 100% 近くになるのは日露戦争後に義務教育 6 年制が成立した後からである。
- Y 正 第一次世界大戦後、イギリスやアメリカで女性参政権が認められたことなどを受け、平塚らいてう（1886-1971）、市川房枝<sup>いちかわふさえ</sup>（1893-1981）らは 1920 年に新婦人協会<sup>しんふじんきょうかい</sup>を結成し、治安警察法第 5 条<sup>ちあんけいさつほう</sup>（女性の政治結社・政治集会を禁止する条項）の改正を求める運動を展開した。
- 以上より、X 一誤、Y 一正の組み合わせになる③が正解である。

（制作：帆玉光輝，瀧拓也）

# 2016年度 センター試験 本試験 日本史 B

## 第2問 原始・古代の漆と香の文化

出題範囲	古代の政治・文化・社会史
難易度	★★★★☆☆
所要時間	8分
傾向と対策	2016年度の第2問は、漆と香の文化を軸に古代の政治史・社会史を問う問題であり、6つの小問のうち、2つが史料を読み解いて解答する問題であった。センター試験の史料問題は、しっかりと読み込めば、確実に解くことができる場合が多い。また、受験生の多くが苦手とする藤原氏に関する小問もあり、日ごろから資料を読み込んで時代や内容を整理しておくといだろう。

### A

問1  正解は②

難易度 ★★★★★☆☆

#### 解説

ア **土偶**が入る。土偶は縄文時代の呪術的風習を表す土製品である。女性をかたどったもののほか、ハート形土偶や遮光器土偶などがある。埴輪は古墳時代に古墳の墳丘上に配置された土製品で円筒埴輪と形象埴輪がある。円筒埴輪は古墳を取り巻き、墓域を明示するために用いられたとされている。形象埴輪は家・人物・動物などをかたどったものである。

イ **東大寺法華堂不空羂索観音像**が入る。東大寺法華堂不空羂索観音像は漆を塗り固めて造られた乾漆像で、天平文化における代表的な作品である。東大寺法華堂には他にも日光・月光菩薩像と執金剛神像などがあり、これらは粘土で作られた塑像である。一方、法隆寺百済観音像は飛鳥文化の作品で、一木造の仏像である。以上より、正解は②である。

問2  正解は①

難易度 ★★★★★☆☆

#### 解説

X 正 史料(注1)より「猿“売”」が女性を示していることは明白である。また、律令制下では、女性には調・庸は課されなかった。よって、この文は正しい。

Y 正 問題文によると、この史料は多賀城跡から出土している。多賀城は陸奥国(現在の宮城県)に設置されていたため、この文は正しい。

以上より、Xー正、Yー正の組み合わせになる①が正解。

問 3 9 正解は②

難易度 ★★★☆☆

## 解説

- ① 誤 藤原冬嗣 (775-826) は、810 年に嵯峨天皇 (在位 809-823) から蔵人頭 (令外官のひとつで、天皇側近として機密事項や訴訟を扱う役所である蔵人所の長官) に任じられた。桓武天皇 (位 781-806) は嵯峨天皇の父で 794 年に平安京への遷都を行い、797 年に令外官として勅解由使 (国司交代の際に後任者が前任者に与える、引継ぎ完了の旨を示した解由状を検査する役職) を設置した。
- ② 正 藤原良房 (804-872) は、承和の変・応天門の変などによって他氏を排斥していき、皇族外で初めて摂政に就いた。
- ③ 誤 藤原忠平 (880-949) は、930 年に朱雀天皇 (在位 930-946) の摂政に就任し、その後 941 年に朱雀天皇が元服する (成人する) と引き続き関白に就任した。彼は関白の職を 946 年の村上天皇 (在位 946-967) 即位後も続け、949 年に亡くなるまで務めた。醍醐天皇 (在位 897-930) と村上天皇の時代には摂関は設置されず、延喜・天曆の治と呼ばれる親政を行った。また、村上天皇は忠平死去後から親政を行った。
- ④ 誤 藤原頼長 (1120-56) は 1156 年、崇徳上皇 (位 1123-41)、平忠正 (? -1156)、源為義 (1096-1156)・源為朝 (1139-70?) と結んで保元の乱を起こしたが、後白河上皇 (院政 1158-79, 81-92) 方に討たれて敗死した。1159 年に起こった平治の乱では源義朝 (1123-60) と結んだ藤原信頼 (1133-59) が、平清盛 (1118-81) と結んだ藤原道憲 (信西) (? -1159) に敗れて斬首となった。

以上より、正解は②である。

## ◆参考 藤原氏の興隆

藤原氏の始まりは 669 年、中臣鎌足 (614-669) が大織冠 (当時の最高官位) と藤原姓を授かったことに由来し、その基盤は鎌足の子である藤原不比等 (659-720) の代に固まった。

しかし、不比等は決して初めから高位であったわけではない。672 年、壬申の乱の際、近江朝廷側の要人であった中臣氏は朝廷からほぼ一掃されており、不比等は当時幼かったため処罰を受けなかったが、後ろ盾をほぼ失うこととなった。しかし、下級官僚からのスタートとなった不比等は大宝律令・養老律令の制定に尽力したほか、娘の藤原宮子を文武天皇 (在位 697-707) の后にし、二人の子である聖武天皇 (位 724-749) の妻に同じく娘の光明子 (701-760) を嫁がせた。平城京は、藤原氏の進退を握る聖武天皇のために不比等が中心となって造営したとも言われており、藤原氏の外戚政策はこの頃から始まっているのである。

また、不比等は『古事記』と『日本書紀』の編纂にもかなり携わっていたという説がある。ここで注意しておきたいのは、現在教科書などに載っている古代史は記紀の内容にもとづく部分も多く、その記紀の記述は、天皇家や藤原氏に有利なように書かれている場合があるため、古代史への我々の理解にも

少なからず影響を与えているだろう。

## B

問 4  正解は②

難易度 ★★☆☆☆

### 解説

- a 正 史料（注1）によると、<sup>くんろく</sup>薫陸という香はインド等が原産である。それを日本の貴族が<sup>しらぎ</sup>新羅の使節団から購入しようとしているため、<sup>ちゅうけい</sup>新羅が香の中継貿易を行っていたことがわかる。
- b 誤 史料に「用意した代価は綿 500 斤、糸 30 斤」と記されているため、代価は銭貨ではなかったことがわかる。
- c 誤 百濟、高句麗はすでに滅びている。7 世紀半ば、<sup>とう</sup>唐と同盟を組んだ<sup>しらぎ</sup>新羅が台頭し始めた。新羅は 660 年にまず<sup>くだら</sup>百濟を滅ぼし、次いで 668 年に<sup>こうくり</sup>高句麗を滅ぼして半島統一を成し遂げた。
- d 正 史料によるとこの文書が作成されたのは 752 年で、まさに<sup>かいはんくよう</sup>東大寺大仏開眼供養の儀式が実施された年である。

以上より、X- a、Y- d の組み合わせになる②が正解である。

問 5  正解は③

難易度 ★★★★★

### 解説

- X b <sup>えんちん</sup>円珍（814-891）は、平安時代の<sup>てんだいしゅう</sup>天台宗僧で 853 年から 858 年にかけて唐に渡り、868 年に<sup>おんじょうじ</sup>園城寺（<sup>みいでら</sup>三井寺）を賜った。後に比叡山を、<sup>えんにん</sup>円仁（794-864）が開いた<sup>さんもんは</sup>山門派が占領したため、園城寺は<sup>じもんは</sup>寺門派の拠点となった。一方、<sup>げんぼう</sup>玄昉は奈良時代の僧で、717 年に<sup>けんとうし</sup>遣唐使として入唐し 735 年に帰国した。その後、<sup>き</sup>吉備真備とともに<sup>たちばなのもろえ</sup>橘諸兄（684-757）政権を主導した。
- Y c 『<sup>おうじょうようしゅう</sup>往生要集』は、985 年に<sup>げんしん</sup>源信（942-1017）によって著された書で、<sup>ごくらくおうじょう</sup>念仏による極楽往生の方法を示している。『<sup>ほんおうじょうごくらくき</sup>日本往生極楽記』は、985 年頃に<sup>よしげのやすたね</sup>慶滋保胤（?-1002）によって著された書で、<sup>しょうとくたいし</sup>聖徳太子（574-622）など極楽往生を果たした者の伝記を集めたものである。

以上より、X- b、Y- c の組み合わせになる③が正解である。

問 6  正解は④

難易度 ★★★★★

### 解説

- I 1019 年、<sup>い き つし ま ちくぜん</sup>壹岐・対馬から筑前の地域を<sup>じょしんぞく</sup>女真族（<sup>まんしゅう</sup>満州民族）の一派が襲った。<sup>だざいのごんのそち</sup>大宰権帥の<sup>たかいえ</sup>藤原隆家（979-1044）が、<sup>とい にゅうこう</sup>総指揮官としてこれを撃退した（<sup>たい</sup>刀伊の入寇）。

- II 663 年、<sup>はくそんこう</sup>白村江の戦いに大敗すると、<sup>なかのおおえのみこ</sup>中大兄皇子（626-671）は<sup>だざいふ</sup>大宰府の北方に<sup>みずき</sup>水城と呼ばれる土塁・水堀や<sup>やまじろ</sup>大野城を含む<sup>やまじろ</sup>朝鮮式山城の建設を命じた。
- III 901 年、右大臣・<sup>すがわらのみちざね</sup>菅原道真（845-903）は、左大臣・<sup>ときひら</sup>藤原時平（871-909）の<sup>ざんげん</sup>讒言（事実をねじまげ、人を悪く言うこと）により、<sup>しやうたい</sup>大宰権帥に左遷されてその土地で死去した（昌泰の変）。

以上より、古い順から II（663 年）→ III（901 年）→ I（1019 年）の組み合わせになる④が正解である。

（制作：帆玉光輝，梶山真嗣）

# 2016年度 センター試験 本試験 日本史 B

## 第3問 中世から近世初頭までの武士の歴史

出題範囲	中世・近世の社会・政治・文化史
難易度	★★★☆☆
所要時間	8分
傾向と対策	2016年度の第3問は、武士の生活というテーマを軸にして、中世の社会史や近世の史料を読み取る問題などが出題された。平易なテーマながらも、広範な分野の知識が問われる良問であった。範囲は広くても、問われている内容は基本的なものであるため、教科書を読み込むことによって基礎事項の定着を図りたい。また、ひとえに武士といえども、中世から近世にかけて在り方が変容するという着眼点を持つと、より深い歴史理解につながる。

### A

問1 13 正解は④

難易度 ★★★☆☆

#### 解説

ア 下人げにんが入る。下人とは所従しよじゆうとほぼ同義で武士や名主みょうしゆの支配のもとで耕作を行った下層農民である。武士団成立後は下級武士ともなった。一方、足軽は軽装の歩兵で、室町時代中期、応仁の乱の頃に盛んに活躍した。集団戦を得意とし、戦力として重要な役割を果たしたものの、戦乱に乗じて放火・略奪を繰り返す、社会問題にもなった。

イ 源実朝みなものさねとも（1192-1219）が入る。実朝は鎌倉幕府第3代将軍である。京文化に強い関心を持ち、和歌や蹴鞠を好んだ。歌集に『金槐和歌集きんかいわかしゆう』がある。1219年、鶴岡八幡宮にて源頼家よりいえ（1182-1204）の息子である公暁くぎよう（1200-19）に暗殺された。一方、頼家は第2代将軍である。頼朝の死後、将軍職を引き継いだものの、北条氏の台頭により将軍としての実権を失っていった。1203年、義理の父で後見人の比企能員ひきよしかずが北条時政ときまさ（1138-1215）によって謀殺されると、伊豆の修禅寺しゆぜんじに幽閉され、翌年死去した。以上より、正解は④である。

問2 14 正解は①

難易度 ★☆☆☆☆

#### 解説

X 正 図甲を見ると、描かれている武士の館には竹藪や板塀、堀があり、防御施設が備わっていることが読みとれる。

Y 正 図乙の中心近くに描かれているのは火薬を利用した「てつほう」という武器である。また、図の左側に

はこれを用いて集団で戦う元軍、右側には奮戦する肥後国の御家人<sup>たけがきすえなが</sup>竹崎季長（1246-?）が描かれている。  
以上より、X - 正、Y - 正の組み合わせになる①が正解である。

問3 15 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 <sup>かねざわ</sup>金沢文庫は、<sup>きたじょう</sup>北条義時（1163-1224）の孫である<sup>かね</sup>金沢（<sup>きたじょう</sup>北条）<sup>まこと</sup>実時（1224-76）が収集した和漢の書物を収めた文庫がもとになっている。<sup>きたじょう</sup>北条義時は第2代執権である。1221年の<sup>しゆく</sup>承久の乱で<sup>あきつひ</sup>後鳥羽上皇（院政 1198-1221）の軍勢を破った。
- ② 誤 伊勢神宮の神官<sup>わたらいえゆき</sup>度会家行は、鎌倉末期から南北朝期にかけて<sup>ほんじすいじやく</sup>本地垂迹説を逆転させた<sup>しんほんぶつじやくせつ</sup>神本仏迹説（<sup>ほんじすいじやく</sup>本地垂迹説）を唱え、<sup>いせしんどう</sup>伊勢神道（<sup>たぐいしんどう</sup>度会神道）を創始した。<sup>ほんじすいじやく</sup>本地垂迹説とは平安中期以降に起こった<sup>しんほんぶつじやくせつ</sup>神仏習合の考え方の一つで、本体である仏（例：大日如来）が人民を救済するために仮に神（例：<sup>あまてらすおおみかみ</sup>天照大神）の姿となってこの世に現れたという説であり、<sup>しんほんぶつじやくせつ</sup>神本仏迹説はその逆で神を主とし仏を従とする。<sup>いせしんどう</sup>唯一神道とは、室町時代、<sup>かねとも</sup>吉田兼俱（1435-1511）が、<sup>しんほんぶつじやくせつ</sup>神本仏迹説にもとづいて大成した神道教説である。
- ③ 誤 <sup>にちれん</sup>日蓮（1222-82）は、<sup>にちれん</sup>日蓮宗（<sup>ほっけ</sup>法華宗）の開祖である。日蓮宗の教えは、「<sup>なむみょうほうれんげきょう</sup>南無妙法蓮華経」と題目を唱えることで人々は救済されるという内容であった。「<sup>なむあみだぶつ</sup>南無阿弥陀仏」は念仏として唱える言葉で<sup>じゆんじゆ</sup>浄土宗・<sup>じゆんじゆ</sup>浄土真宗・<sup>じゆんじゆ</sup>時宗で重視されるものである。
- ④ 正 『<sup>へいけ</sup>平家物語』は、鎌倉前期に成立した<sup>ぐんき</sup>軍記物語で<sup>しなののぜんじゆきなが</sup>信濃前司行長による作品という説が有力である。<sup>へいけ</sup>平曲とは、『<sup>へいけ</sup>平家物語』を琵琶伴奏で語る芸能である。

以上より、正解は④である。

B

問4 16 正解は①

難易度 ★★☆☆☆

解説

- a 正 史料の1～2行目を読むと「惣別分限あらん者一乗谷へ引越し…」とあり、注2・3より「<sup>しよりのある</sup>所領のあるものは一乗谷へ引越す」ことを定めていることがわかる。
- b 誤 史料の1行目に「朝倉が館の外、国内に城郭を構えさせまじく候」、すなわち「<sup>あさくら</sup>朝倉氏の館以外に、国内に城郭を構えてはならない」ことを定めているため、この選択肢は誤りである。
- c 正 史料2を見ると、この掟書が月6回定期市を開くように定めていることがわかる。このように応仁の乱ごろから各地で<sup>ろくさいいち</sup>六斎市が一般的となった。
- d 誤 史料2の5行目で「諸役は一切これあるべからざる事」すなわち「<sup>しちやうぜい</sup>市場税は一切廃止すること」が定められており、この選択肢は誤りである。この史料のように戦国期には多くの市で商業を活性化させるために<sup>しちやう</sup>楽市（市場税の廃止）・<sup>しちやう</sup>楽座（特権的な販売座席の廃止）政策が実施されていた。

以上より、正解は①である。

#### ◆参考 分国法

一、朝倉が館<sup>たち ほか</sup>之外<sup>(に)</sup>、国内<sup>(に)</sup>城郭を構へさせまじく候。惣別分限あらん者、一乗谷へ引越、郷村には代官ばかり置かるべき事。

(現代語訳) 朝倉氏の館以外に国内に築城してはならない。所領のあるものは全員一乗谷(朝倉氏の城下町)へ引越し、郷村には代官だけをおくようにすること。  
『朝倉孝景条々』(朝倉氏)

一、私領<sup>みょうてん</sup>の名田の外、恩地領<sup>こきやく</sup>左右無くして沽却せしむる事、これを停止しおわんぬ。

一、内儀を得ずして他国へ音信、書状を遣わす事、一向停止せしめおわんぬ。

一、喧嘩<sup>けんか</sup>の事是非におよばず成敗加ふべし。但し取り懸<sup>かか</sup>るとも雖も堪忍せしむるの輩に於いては罪科に処すべからず。

(現代語訳) 先祖伝来の私領以外、恩賞として与えられた土地を理由なく売却することを禁止する。

- ・事前に許可を得ることなく、他国へ連絡や手紙を送ることを一切禁止する。
  - ・喧嘩した場合、是非を論じることなく処罰する。しかし、喧嘩をけしかけられても我慢したものに関して罪を問わない。
- 『甲州法度之次第』(武田氏)

一、駿遠両国の輩、或はわたくしとして他国より嫁をとり、或は婿にとり、娘をつかはす事、自今日後停止し畢ぬ。

(現代語訳) 駿河・遠江両国の家臣が勝手に他国より嫁を取ったり、婿を取ったり、娘を嫁にやったりすることは今後禁止する。  
『今川仮名目録』(今川氏)

一、百姓、地頭の年貢所当相つとめず、他領へ罷り去る事、盗人の罪科たるべし。

(現代語訳) 百姓が地頭の年貢やその他の雑税を納めず、他領へ逃げた場合は盗みの罪とする。

『塵芥集』(伊達氏)

戦国大名は、領国支配のために分国法を制定した。これらの法典は中世法を継承しており、その中には家臣団の城下町集住(『朝倉孝景条々』)や喧嘩両成敗法(『甲州法度之次第』)などが定められている。これらの法は織豊政権にも多く継承された。

問 5 17 正解は⑥

難易度 ★★★★★☆

解説

- I オランダ船リーフデ号は 1600 年（徳川政権下）に豊後国へ漂着した。朱印船貿易で活躍した外交顧問ウィリアム＝アダムズ（三浦按針<sup>みうらあんじん</sup>，1564-1620）や、ヤン＝ヨーステン（耶揚子<sup>やようす</sup>，1556? -1623）はこの乗組員であった。
- II 1584 年（豊臣政権下），スペイン商船が肥前国平戸<sup>ひらど</sup>に来航したことから日本とスペインとの関係は始まる。スペイン以前に来日していたポルトガルとの貿易も含め，この時代のヨーロッパとの貿易を南蛮貿易<sup>なんばん</sup>という。
- III 鉄砲は 1543 年（戦国時代），種子島に漂着した中国人倭寇の船に鉄砲を所持するポルトガル人が同乗していたことで伝来した。やがて，鉄砲は和泉の堺<sup>いずみ</sup>，紀伊の根来・雑賀<sup>ねごろ さいか</sup>，近江の国友などで生産されるようになり，戦国時代の終結へ大きな影響を及ぼした。
- 以上より，年代順に III（1543 年・戦国時代）→ II（1584 年・豊臣政権下）→ I（1600 年・徳川政権下）の組み合わせになる⑥が正解である。

問 6 18 正解は③

難易度 ★★★★★☆

解説

- ① 正 織田信長（1534-82）は 1579 年，近江国に 5 層 7 重の天守閣を持つ安土城を完成させた。その後，安土城は 1582 年，本能寺の変の直後に焼失し，どのような形状であったのかについては，いまだ議論が続いている。
- ② 正 豊臣秀吉（1537-98）は 1583 年，織田信長が 1580 年に屈服させた石山本願寺の跡地に 5 層の天守閣を持つ大坂城を築城した。1615 年，大坂夏の陣によって落城し焼失，徳川氏による再建後も幕末に焼失した。現在の城は 1931 年に再建されたものである。
- ③ 誤 伊勢国の大湊<sup>おおみなと</sup>は，伊勢神宮の門前町である宇治・山田の外港として栄えた港町である。少々難しい問題であるが「大湊」という地名や伊勢国という部分から港町だということを推定したい。
- ④ 正 戦国時代には加賀の金沢や摂津の石山など浄土真宗の寺院や道場を中心に寺内町が建設され，門徒の商工業者が集住した。
- 以上より，正解は③である。

(制作：帆玉光輝，浦地智暉)

# 2016年度 センター試験 本試験 日本史 B

## 第4問 江戸時代の概観

出題範囲	近世の政治・社会・文化史
難易度	★★★☆☆
所要時間	8分
傾向と対策	2016年度の第4問は、江戸時代の政治史を中心に構成された問題であった。出題の内容は基本的な事項ばかりではあるが、江戸時代の三大改革など、混同して覚えがちな項目も多く完答は難しいかもしれない。教科書だけでなく、図表なども利用して整理するのが得策であろう。また、問2のように日本地図上の場所を選択して答える問題もセンター試験では頻出であるので、地名と場所をセットで覚える習慣をつけたい。

### A

問1 19 正解は④

難易度 ★★★☆☆

#### 解説

- ① 誤 幕府は1635年発令の武家諸法度（寛永令）によって江戸への参勤交代を規定した。基本は在府1年・在国1年だが、吉宗の時代には上げ米を実施したため在府期間が半減された。参勤交代は、幕府（将軍）に対する軍役の役割を果たしていたが、大名行列や江戸の大名屋敷の経費は諸藩の財政を圧迫した。
- ② 誤 大名監察のために幕府が置いたのは大目付である。目付は旗本・御家人の監察を担当した。
- ③ 誤 老中などの要職には原則譜代大名が就任した。大名は親藩・譜代・外様の3種類に分けられる。親藩は水戸・尾張・紀伊の御三家をはじめとした徳川氏一門の大名である。譜代は関ヶ原の戦い以前から徳川氏に仕えていた井伊氏（彦根）などの大名、外様は島津（薩摩）や毛利（長州）など関ヶ原の戦い以後に徳川氏に仕えた大名をいう。
- ④ 正 1615年の元和令をはじめとする武家諸法度は幕府の大名に対する法典で、これに違反した大名は改易（領地没収）・転封（領地替え）などの処罰が下された。
- 以上より、正解は④である。

問2 20 正解は②

難易度 ★★★☆☆

#### 解説

- X a 紅花の産地として有名なのは出羽村山（最上）(a) である。bは藍玉の代表的な産地・阿波を示している。
- Y d 西陣織は、京都（d）の西陣で発展した高級絹織物である。金襴・緞子は高度な技術を要する高機によつ

て西陣で独占的に織られていたが、江戸時代後期には桐生<sup>きりゆう</sup>（c）などに技術が流出し、全国各地で高級絹織物が生産された。

以上より、X - a, Y - dの組み合わせになる②が正解である。

問3 21 正解は③

難易度 ★★★☆☆

解説

X 誤 1720年、徳川吉宗<sup>よしむね</sup>（任1716-45）は享保の改革で、学問発展のために漢訳洋書の輸入制限を緩和し、青木昆陽<sup>あおきこんよう</sup>（1698-1769）と野呂元文<sup>のろげんじょう</sup>（1693-1761）にオランダ語の学習を命じた。これがのちの蘭学発展の基礎となる。

Y 正 徳川吉宗は1722年、目安箱<sup>めやすばこ</sup>に投書された意見を採用し、江戸市内の貧民医療・救護のために小石川養生所<sup>こいしかわようじょう</sup>を設けた。吉宗はこのほかにも都市政策として1720年に従来の定火消<sup>じょうびけし</sup>とは異なる「いろは47組」の町火消を組織した。

以上より、X - 誤, Y - 正の組み合わせになる③が正解である。

B

問4 22 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

ア 海国兵談が入る。『海国兵談』は、林子平<sup>しへい</sup>（1738-93）が1786年に著した書物で、「海国」である日本が行うべき国防政策について記されている。政治への批判を禁じた出版統制令のため、子平は幕府により処罰された。一方、『慎機論』<sup>しんきろん</sup>は1838年に渡辺華山<sup>かざん</sup>（1793-1841）が著した書物で、1837年に起きたモリソン号事件<sup>ぼじゅつゆめものがたり</sup>に関して幕政への批判を展開している。華山はこの批判を理由として1839年、『戊戌夢物語』<sup>ぼじゅつゆめものがたり</sup>を著した高野長英<sup>ちやうえい</sup>（1804-50）と共に弾圧された（蛮社の獄<sup>ばんしゃごく</sup>）。

イ 南総里見八犬伝<sup>なんそうさとみはっけんでん</sup>が入る。『南総里見八犬伝』は、曲亭馬琴<sup>きよくていばきん</sup>（滝沢馬琴<sup>たきざくばきん</sup>、1767-1848）が1814年から同41年までかけて著した大長編読本<sup>よみほん</sup>である。勧善懲悪、因果応報といった内容が特色である。一方、『東海道中膝栗毛』<sup>とうかいどうちゅうひざくりげ</sup>は十返舎一九<sup>じっぺんしゃいっく</sup>（1765-1831）が1802年から同22年にかけて著した滑稽本<sup>こっけいほん</sup>である。膝栗毛とは、自分の膝を栗色の馬の代わりに使う徒歩旅行の意味で、主人公の弥次郎兵衛<sup>やじろべえ</sup>と喜多八<sup>きたはち</sup>の二人が旅先で騒ぎを起こしながら伊勢神宮へ向かっていくという話である。

以上より、正解は①である。

問 5 23 正解は③

難易度 ★★☆☆☆

解説

- a 誤 史料 1 行目に「わが主人は富にも禄にも官位にも不足なし」とあることから、田沼が既に十分な金や地位を持っていて、選択肢にある金や地位にしか関心がないというのは誤りであることがわかる。
- b 正 史料 2～3 行目に「田沼老中の時、仕置きたる事とて、ながき代に人のためになる事をしおきたく願うなり」とある。すなわち、「田沼が老中の時代にしておくこととして、後世の人のためになることをしおきたいと願っている」と書かれているので、この選択肢は正しいことがわかる。
- c 正 田沼は工藤平助 (1734-1800) が著した『<sup>あかえぞふうせつこう</sup>赤蝦夷風説考』などに影響され、蝦夷地開拓の可能性を調査させるために 1785 年に<sup>もがみとくない</sup>最上徳内 (1755-1836) を<sup>くなしり</sup>蝦夷地へ派遣している。最上は 1785 年に国後島を探索し、1786 年には<sup>ちしま</sup>千島を探索したあと<sup>うるつぶ</sup>得撫島に至った。
- d 誤 田沼は蝦夷地の開拓、さらにはロシアとの貿易を構想していたため、このような命令を出したことはない。日本沿岸に接近する異国船を打払うように命じた 1825 年の<sup>いこくせんうちほらいれい</sup>異国船打払令を発したのは、大御所政治を展開した第 11 代将軍<sup>いえなり</sup>徳川家斉 (任 1787-1837) である。
- 以上より、正解は③である。

問 6 24 正解は①

難易度 ★★★☆☆

解説

- ① 誤 宣教師シドッチ (1668-1714) は、鎖国下の日本で布教するために 1708 年 (18 世紀前半)、屋久島へ単独上陸した。この際、和服帯刀姿に変装して上陸したが、不審に思った島民により直ちに捕らえられた。その後、当時<sup>しょうとく</sup>正徳の治を展開していた<sup>しんせい</sup>新井白石 (1657-1725) の献策により、キリシタン屋敷に収容され、そこで白石からの尋問を受ける。白石はここでの対談をもとにして、『<sup>せいようきぶん</sup>西洋紀聞』と『<sup>さいらんいげん</sup>采覧異言』を著した。
- ② 正 <sup>たかたやかへえ</sup>高田屋嘉兵衛 (1769-1827) は、近世後期の豪商で、1812 年国後島の沖合でロシア人に捕らえられ、カムチャッカまで連行された。この背景には、前年千島列島の測量を行っていたロシアの海軍軍人<sup>ごろーう</sup>ゴロー(ウ)ニン (1776-1831) が日本で幽閉されていたことがある (ゴロー(ウ)ニン事件)。嘉兵衛がゴロー(ウ)ニンの釈放に尽力した結果、1813 年、嘉兵衛の帰国とゴロー(ウ)ニンの釈放によってゴロー(ウ)ニン事件は終結した。
- ③ 正 ドイツ人医師<sup>シーボルト</sup>シーボルト (1796-1866) は、1823 年にオランダ商館医として長崎に着任し、翌年現地で<sup>なるたまじゆく</sup>鳴滝塾を開いた。鳴滝塾の著名な門下生として<sup>ちやうえい</sup>高野長英、<sup>げんぼく</sup>伊東玄朴 (1800-71) がいる。1828 年、帰国する際に高橋景保 (1785-1829) から入手した国外持出禁止の日本地図を持ち帰ろうとしたことが発覚し、国外追放・再入国禁止となった。
- ④ 正 19 世紀初頭ヨーロッパではナポレオン戦争が展開されており、オランダはナポレオンの支配下に入っていた。1808 年、この影響を受けてイギリスの軍艦<sup>フェートン号</sup>フェートン号がオランダ船の捕獲を目的に長崎湾内に侵

入した。そして、オランダ商館員を人質に取り、食料・薪水を強奪して去っていったが、長崎奉行・松平康<sup>やす</sup>  
英<sup>ひで</sup>（1768-1808）は責任を取り切腹した。

以上より、正解は①である。

（制作：帆玉光輝，金子智実）

# 2016年度 センター試験 本試験 日本史 B

## 第5問 明治期の地方制度

出題範囲	近代の政治史
難易度	★★★☆☆
所要時間	6分
傾向と対策	2016年度の第5問は、明治初期の政治史についての出題だった。問題自体の難易度は標準的だが、歴史的事項の流れやそれぞれの年号の暗記・理解が必須な小問が多く、それが不十分だった受験生は苦戦したかもしれない。江戸末期から明治初期は、日本史Bの範囲の中でも特に激動の時代であり、覚える事項が多いため苦勞するが、その流れや背景の理解を念頭に教科書などを読むと頭に入りやすいので、史料に広くあたることを含めた勉強方法を推奨する。

問1 25 正解は③

難易度 ★★☆☆☆

### 解説

- ア 土佐が入る。明治維新の諸改革では、幕末に雄藩として台頭した薩摩・長州・土佐・肥前（佐賀藩）の4藩が主に活躍した。1871年、薩長土の藩兵からなる御親兵一万兵を東京に集め、廃藩置県を断行した。これによって、1869年の版籍奉還で知藩事ちはんじとなっていた元藩主は全員東京に転居させられ、各府県には中央政府から府知事・県令が派遣された。
- イ 郡区町村編成法へんせいが入る。明治政府は1871年の廃藩置県後、画一的な大区・小区制を敷いたが、旧来の町村や地方自治にそぐわない部分があり、各地で混乱が起きた。そこで、旧来の地方区画を取り入れて、1878年に郡区町村編成法を施行したのである。地方自治法は戦後、日本国憲法に基づいて1947年に発布された法律である。地方首長の公選制やリコール制などを定めた。
- 以上より、正解は③である。

問2 26 正解は③

難易度 ★★★★★

### 解説

下線部③の時期に起こった戊辰戦争は、1868年から1869年までである。

- ① 誤 五カ条の誓文は、1868年3月14日（江戸城総攻撃の予定日と同日）に発布された明治新政府の基本方針である。主な内容は、公議世論の尊重、攘夷の否定と開国和親の方針など、近代的な国家としての体裁を示すものであった。この文中では四民平等は定められていない。1869年6月の版籍奉還はんせきほうかんによって封建的主従関係が消滅したあと、士族と華族が成立し、同時に百姓・町人が平民となった。その後、1870年9月平民に名字が許され、1871年8月に華族・士族・平民相互の結婚が認められるなど四民平等は漸進的ぜんしんに成立

していった。

- ② 誤 **五榜の掲示**は、1868 年 3 月 15 日（五カ条の誓文が公布された翌日）に高札という形で掲示された。この第三榜によると「切支丹邪宗教ハ旧ニ仍リテ之ヲ嚴禁ス」とあり、**キリスト教を旧来通り認めなかったこと**がわかる。明治新政府の民衆政策は、旧幕府のそれを継承したものである。
- ③ 正 **政体書**は、1868 年閏 4 月に出された布告である。五箇条の誓文にもとづいた基本的な政治機構を規定しており、具体的には太政官への権力集中、**三権分立**や**議会制度**、**高級官吏の公選制**を採用していた。すぐに形骸化したものの、欧米的な近代政治の体裁を日本に取り入れようとした意義は大きい。
- ④ 誤 **徴兵令**が公布されたのは**1873 年 1 月**である。国民皆兵に基づいた近代的軍制は、長州藩の**大村益次郎**（1824-69）が発案し、**山県有朋**（1838-1922）が継承して実現した。
- 以上より、正解は③である。

問 3 **27** 正解は①

難易度 ★★★☆☆

解説

- X 正 **ロエスレル**（1834-94）は、1878 年に外務省顧問として招かれたドイツの法学者である。1886 年末から始まった憲法草案作成に際して、その任にあたった**伊藤博文**（1841-1909）、**井上毅**（1843-95）、**伊東巳代治**（1857-1934）、**金子堅太郎**（1853-1942）に助言を与え、**大日本帝国憲法**の基礎を作った。
- Y 正 **フェノロサ**（1853-1908）は、アメリカの哲学者・美術研究家で 1878 年に東京大学に招かれた。来日後、日本美術に興味を持ち、1880 年代中ごろには**岡倉天心**（1862-1913）と共に東京美術学校を設立し、**横山大観**（1868-1958）、**菱田春草**（1874-1911）、など明治の大家を育てた。
- 以上より、X - 正、Y - 正の組み合わせになる①が正解である。

問 4 **28** 正解は①

難易度 ★★★☆☆

解説

- I **内閣制度**は、1885 年 12 月に**太政官制**に代わって制定された。これは憲法制定の中心人物にして、初代内閣総理大臣に就任した**伊藤博文**の献策である。
- II **枢密院**は、1888 年 4 月に憲法草案審議を目的として設置された。初代議長は伊藤博文である。枢密院はその後も明治憲法第 56 条によって、重要国務について審議する**天皇の最高諮問機関**と規定された。
- III **大日本帝国憲法**が発布されたのは、1889 年 2 月 11 日である。天皇大権のほか、臣民の権利や帝国議会の開設などについての規定があった。正確な年号を覚えていなくても、上記にあるような枢密院の設置目的を知っていれば、憲法発布は枢密院設置よりも後であると判断できる。
- 以上より、古い年代順から I（1885 年）→II（1888 年）→III（1889 年）となる①が正解である。

（制作：帆玉光輝、浦地智暉）

# 2016年度 センター試験 本試験 日本史 B

## 第6問 オリンピックを巡る日本の近現代史

出題範囲	近現代の政治・外交・文化史
難易度	★★★★☆
所要時間	13分
傾向と対策	2016年度の第6問は、2020年に開催される東京オリンピックに即した時事問題の形を取りながらも、各小問は外交・文化史を中心とする近現代史についての出題であった。日本と諸外国との関係を問う問題が散見されるが、これは20世紀において日本と国際社会が特に密接に関係し合う時期であり、日本史といえども諸外国の動向に関する理解が必要であるということを示している。世界史的な観点も持ちつつ、資料集などで当時のデータや新聞・雑誌に目を向けながら日本史を勉強すると、さらなる理解につながるだろう。

### A

問1 **29** 正解は④

難易度 ★★★★★☆

#### 解説

- ① 誤 **国際連盟**は、第一次世界大戦中に**ウィルソン**米大統領（1856-1924）がその構想を発表し、1920年に設立された。その常任理事国は**イギリス・フランス・日本・イタリア**の4カ国である。アメリカは**モンロー主義**（1823年のモンロー宣言以来アメリカ外交の**主軸**となっていた、ヨーロッパ諸国とアメリカ大陸諸国との相互不干渉主義）に則った上院の反対により加盟せず、**ロシア革命**直後のソビエト社会主義共和国連邦は、当初参加を認められなかった。
- ② 誤 1921年から同22年まで**ハーディング**米大統領（1865-1923）の呼びかけに応じ、日本政府は**加藤友三郎**（1861-1923）海軍大臣を全権の一人として**ワシントン会議**に参加した。当時の首相は、**立憲政友会**の**高橋是清**（1854-1936）である。
- ③ 誤 **四カ国条約**では**太平洋の平和**に関して取り決めが行われた。**中国の主権尊重**や**中国利権の機会均等**が取り決められたのは、**九カ国条約**である。
- ④ 正 **不戦条約**は1928年にパリで締結され、当時中国では**積極外交**を展開していた**田中義一**内閣（1927-29）も参加・調印した。その第一条には「…国家ノ政策ノ手段トシテノ戦争ヲ放棄スルコトヲ其ノ各自ノ人民ノ名ニ於テ**厳肅**ニ宣言ス」と明記されている。

以上より、正解は④である。

## ◆参考 ワシントン会議

1921 年 11 月、ハーディング米大統領の提唱によってワシントン会議が開催され、当時の高橋是清内閣は加藤友三郎海軍大臣、徳川家達貴族院議長、幣原喜重郎（1872-1951）駐米大使の 3 人を全権として派遣した。会議は 1922 年 2 月まで続き、以下の三条約を締結した。

## ○ワシントン海軍軍縮条約

主力艦の保有量制限が、米：英：日：仏：伊 = 5：5：3：1.67：1.67 と規定された。日本海軍は対米英 7 割を主張していたが、交渉は難航し、加藤代表は妥協を迫られた。

## ○四カ国条約

太平洋諸島に利害関係を持つ米・英・日・仏の四カ国間で締結された条約で太平洋諸島における各国勢力の相互承認と現状維持を約束した。この条約によって日英同盟が廃棄された。

## ○九カ国条約

中国に利害関係を持つ米・英・日・仏・伊・オランダ・ポルトガル・ベルギー、そして中国の九カ国間で締結された条約である。アメリカが以前から主張していた門戸開放・機会均等・領土保全政策を各国が認めた。この条約をもとにした山東懸案解決条約によって、日本が大戦中に獲得した山東省の旧ドイツ権益は中国へ返還されることが決定した。また、これにより 1917 年 11 月に締結された石井・ランシング協定は廃棄された。

ワシントン会議の成立は、すなわちアメリカの外交勝利であった。アメリカが史上初めて開いたこの国際会議の目的は大きく三つあった。一つめは大戦前後で拡大した日本海軍を抑え込むこと、二つめは日本の中国進出を阻止し大戦前の状態まで回復すること、そして、三つめはイギリスとの協調を深めることである。

一つめは軍縮条約で対米 6 割に抑え込んだことと、四カ国条約で太平洋における現状維持を約束させたことで達成された。この条約交渉の際、日本政府と全権団との暗号電信はアメリカ側に解読されており、日本側が妥協する最低ラインを把握したうえでアメリカは交渉していた。二つめは九カ国条約で達成された。中国権益の獲得競争に乗り遅れたアメリカは 1899 年から門戸開放政策を提唱していたが、1904 年から同 05 年の日露戦争、1915 年の二十一条要求によって度々阻止されており、その念願が九カ国条約で達成されたのである。そして、三つめは四カ国条約で日英同盟が破棄されたことで達成され、これにより、アメリカはイギリスと対立することなく日本の中国・太平洋進出を阻止できるようになった。

一方、日本がこのような不利な条件をのんだ背景には、日本が第一次世界大戦後の不況に陥っていたこと、アメリカとの経済関係が良好であったこと、また、大戦で西欧が疲弊していた中、“狂騒の 20 年代”と呼ばれる全盛期を展開していたアメリカが外交方針を転換し、国際協調が世界の一大勢となっていたことがある。しかし、これをまた一つの契機として、共に中国に関心を持ち続けた日米関係はさらに悪化していく。

問 2 30 正解は③

難易度 ★★★★★

## 解説

- X 誤 図甲を見ると、「川端康成著」と記されており、『浅草紅団』の著者は川端康成であることがわかる。新感覚派の代表的な作家である川端康成（1899-1972）は、『伊豆の踊子』や『雪国』などの作品を書き、1968年にノーベル文学賞を受賞した。一方、プロレタリア文学は1921年創刊の『種蒔く人』から隆盛した社会主義思想にもとづく文学のことで、『蟹工船』の小林多喜二（1903-33）や『太陽のない街』の徳永直（1899-1958）が代表的作家である。
- Y 正 図乙を見ると、築地小劇場と書かれてある。築地小劇場とは、東京・築地に存在した劇場名であり、そこで公演を行った新劇の劇団名でもある。新劇とは、歌舞伎に対してヨーロッパの近代演劇を導入した演劇のことを指し、1906年に島村抱月（1871-1918）、坪内逍遙（1859-1935）が文芸協会を設立したほか、1909年に2代目市川左団次（1880-1940）、小山内薫（1881-1928）が自由劇場を設立したことで発展し始めた。そして、小山内薫が自由劇場解散後に土方与志（1898-1959）と共に設立した劇団が、築地小劇場である。
- 以上より、X - 誤、Y - 正の組み合わせになる③が正解である。

問 3 31 正解は⑤

難易度 ★★★★★

## 解説

- I 犬養毅（1855-1932）首相が暗殺された五・一五事件が発生したのは、1932年5月15日である。この事件以前から1930年の統帥権干犯問題や昭和恐慌などによって、日本停滞の原因を政党・財閥の腐敗に見出し、これらを打倒して陸軍独裁の政府を立てるべきだという国家改造運動が一部軍人や右翼の間で活発になっていた。同年2～3月には井上準之助（1869-1932）前蔵相、団琢磨（1858-1932）三井合名会社理事長が暗殺される血盟団事件が発生しており、五・一五事件はその流れを受けて発生した。この事件によって1924年の護憲三派内閣以来8年間続いた政党内閣は崩壊した。
- II 塘沽停戦協定は、斎藤内閣時代の1933年5月に締結された。この条約によって1931年9月から始まった満州事変は終結し、国民政府は満州国の存在を事実上黙認した。
- III 日本は、第一次世界大戦中に欧米列強に倣って金輸出を禁止した。大戦後欧米各国は1920年代のうちにほぼ金本位制に復帰していたが、戦後、連続的な恐慌に陥っていた日本はその機を逸していた。そのために、20年代末には日本の為替相場は動揺し、インフレが進行しており、立憲民政党的の浜口雄幸内閣（1929-31）は金本位制への早期復帰を政綱に掲げていた。そして1930年、井上準之助蔵相はようやく金解禁を実施したが、その際に金輸出禁止前の為替相場（旧平価）で解禁したため、1920年代末の相場（新平価）に対して事実上の円切り上げとなり、円高が生じた。これは円の信用を向上させること、大戦景気で肥大化した国内産業を整理することを目的としていたが、結果として輸出量が減少し金が流出したことで、世界恐慌とも

相まって昭和恐慌を引き起こした。その後、1931年に犬養内閣の高橋<sup>これきよ</sup>是清蔵相が金輸出を再禁止している。以上より、古い順からⅢ（1930年：浜口雄幸内閣期）→Ⅰ（1932年：犬養毅内閣期）→Ⅱ（1933年：斎藤実内閣期）であり、正解は⑤である。

## B

問4 32 正解は②

難易度 ★★★★★

## 解説

- ① 正 1909年、統監府に初代統監の伊藤博文（1841-1909）が安<sup>あんじゅうこん</sup>重根（1879-1910）によって暗殺されると、日本は韓国併合を行い朝鮮総督府を置いて植民地支配を始めた。その際に併合を断行し、初代朝鮮総督に就任したのは寺<sup>てらうちまさたけ</sup>内正毅（1852-1919）である。
- ② 誤 防<sup>ぼうこくれい</sup>毅令は、1889年、朝鮮の地方官が凶作を理由として米・大豆などの日本への輸出を禁じた命令である。日本政府はその命令を撤廃させ、1893年には禁輸中の賠償金を獲得した。
- ③ 正 1919年、ウィルソン米大統領が提唱し、ロシア革命においても発表されていた民族自決主義の影響を受けて、朝鮮で大規模な民族独立運動である三・一独立運動が起きた。総督府は武力をもって徹底的に弾圧したが、当時の原<sup>はらたかし</sup>敬内閣（1918-21）は国際世論にも配慮して、朝鮮・台湾総督について文官の就任を認め、朝鮮における憲兵警察制度（朝鮮統治に関して陸相に属する憲兵が警察権を持つという制度。これまで憲兵警察による横暴が多発していた。）を廃止するなど植民地政策を一部改善した。
- ④ 正 日中戦争期、植民地である台湾・朝鮮では皇民化政策が取られ、神社参拝や日本語の常用、日本式氏名を用いさせる創氏改名が強要された。
- 以上より、正解は②である。

問5 33 正解は②

難易度 ★★★☆☆

## 解説

- X 正 トーキー映画とは現在のような音声が付いた映画のことを指し、日本では1931年から始まった。
- Y 誤 美空ひばり（1937-89）は、1949年の映画の主題歌でデビューを果たした戦後の代表的な女性歌手。代表曲は「川の流れのように」など。ただし、ラジオは1925年から本放送が開始されている。
- 以上より、X - 正、Y - 誤の組み合わせになる②が正解である。

問6 34 正解は③

難易度 ★★★★★

## 解説

- a 誤 「大東亜共栄圏」とは、日本がアジアを欧米の帝国主義政策から解放して、日本・満州・中国・東南アジア

ア諸民族の共栄を目指す、という**南進政策**（植民地を南方、すなわち東南アジア・太平洋諸島へと展開する政策）を**正当化するためのスローガン**である。この政策の結果、連合国との摩擦が深まり、**太平洋戦争**につながっていった。

- b 正** 問題文が示す声明とは、1938年1月に発表された第1次近衛声明<sup>このえ</sup>である。文中の「国民政府」とは、当時重慶<sup>じゅうけい</sup>にあった（もとは南京<sup>なんぎん</sup>にあった）**蒋介石**<sup>しやうかいせき</sup>（1887-1975）の国民政府である。この声明によって近衛政権は同政府との**和平交渉の可能性を断ち切った**。その後、近衛政権は11月に第2次近衛声明によって、日中戦争の目的は日・満・華三国による「東亜新秩序」建設にあると発表し、12月には善隣友好・共同防共・経済提携という近衛三原則を第3次近衛声明として発表した。
- c 正** 1937年に始まった近衛政権主導の**国民精神総動員運動**では、戦争遂行のために「挙国一致」・「尽忠報国」・「堅忍持久」をスローガンとして、日本精神の高揚が図られた。
- d 誤** **日中戦争**の勃発が**1937年**なのに対し、**アメリカの対日石油禁輸**を決定したのは、日本軍が南部仏印（フランス領インドシナ）に進駐した直後の**1941年**であるため、選択肢のように「ただちに」とは言えない。これにより日米開戦は避けられない状況となり、日本は**1941年**12月に対米英宣戦布告を行った。以上より、**b**と**c**の組み合わせになる**③**が正解である。

## C

問7 35 正解は**①**

難易度 ★★☆☆☆

### 解説

- a 正** 示されている法律の条文は**自作農創設特別措置法**<sup>じさくのうそうせつとくべつそちほう</sup>第1条である。この法律に基づいて第2次農地改革は推進された。1945年に日本政府が自主的に行おうとした第1次農地改革は不徹底であると批判されたが、同48年にGHQの勧告で実施された第2次農地改革は効果をあげた。この改革により戦前25%以上いた小作農が8%程度まで減少した代わりに、農家の大半が自作農となった。
- b 誤** **高度経済成長期**に化学肥料や農業機械が普及したことで生産力が上昇し、兼業する農家が増加した。そして、1970年には農家総数のうち半数以上が農業外収入を主とする第2種兼業農家となった。
- c 正** 第1次農地改革では制限されなかったが、第2次農地改革によって在村地主の自作地と小作地の合計は内地3町歩（北海道は12町歩）まで、そのうち小作地は内地1町歩（北海道4町歩）までと制限された。制限を超える土地及び不在地主の貸付農地は全て政府が強制的に買収した。
- d 誤** そもそも**農地改革**は、**寄生地主制を解体するために実施された**政策である。戦前、財閥や寄生地主などの非民主的な経済格差が存在したことが一因で国内市場が閉塞し、日本は大陸へと進出していった。農地改革の過程で地主は広大な土地を国によって安く買収され、農村に存在していた封建的身分関係が解消された。以上より、**a**と**c**の組み合わせになる**①**が正解である。

問 8 36 正解は①

難易度 ★★★☆☆

解説

- X a 1959 年に稼働を開始した四日市コンビナートから排出される工場煤煙に含まれた亜硫酸<sup>ありゆうさん</sup>ガスによって、三重県四日市市<sup>よっかいちし</sup>（a）で四日市ぜんそくと呼ばれる公害が発生した。この公害を含め 1960 年代後半には公害訴訟が相次ぎ、他には工場排水に含まれた有機水銀によって発生した水俣病<sup>みなまたびょう</sup>（熊本県水俣市）と新潟水俣病（新潟県阿賀野川<sup>あがの</sup>流域）、神岡鉱山（現カミオカンデ）から流出したカドミウムによって発生したイタイイタイ病（b、富山県神通川<sup>じんずう</sup>流域）が有名である。訴訟はいずれも原告側が勝訴となった。
- Y c 美濃部亮吉<sup>みのべりようきち</sup>（1904-84）は美濃部達吉<sup>たつきち</sup>（1873-1948）の長男で、1967 年に東京都（c）知事に当選し、革新首長の先駆けとなった。この時期には高度経済成長のひずみが各方面で表面化していたため、その解決を期待されての当選であった。この後、京都・大阪などでも革新首長が当選し、これらの自治体は革新自治体と呼ばれた。しかし、1970 年代半ば頃には福祉政策の拡充による財政難に直面し、革新勢力は退潮していった。
- 以上より X - a、Y - c の組み合わせになる①が正解である。

（制作：帆玉光輝，浦地智暉）